

2023 年度 関西支部見学会・第 489 回航空宇宙懇談会

日時：10 月 13 日(金) 13：30～17：00

場所：JALEC 大阪航空機整備センター

住所：大阪府池田市空港 2-1-15 日本航空整備格納庫（大阪国際空港から徒歩 10 分）

TEL:06-4685-3571

募集人数：20 名（整備場見学の都合）

予定

13 時 30 分集合

13 時 35 分-14 時 35 分

講演 1：「民間航空機の整備に AHM(Aircraft health management)を活用するために必要なこと」

小泉 拓郎 氏（大阪公立大学大学院・三菱重工業(株)）

14 時 45 分-15 時 45 分

講演 2：「SAF 利用に関する現状と今後について（仮）」

喜多 敦 氏（日本航空株式会社 調達本部長付 AFS 推進担当部長）

15 時 50 分-17 時 00 分 見学説明ならびに整備場見学

講演 1

「民間航空機の整備に AHM(Aircraft health management)を活用するために必要なこと」

小泉 拓郎 氏（大阪公立大学大学院・三菱重工業(株) バリューチェーン本部バリューチェーン技術部主席部員）

AHM(Aircraft health management)は、航空機の故障診断や故障予測を用いることで、安全性に加えて運航性と経済性を向上できる新たな整備手法であり、国際標準検討機関が中心となって整備プログラムへの導入を進めている。この講演では、従来から用いられている整備プログラムの概要を説明するとともに、整備プログラムに AHM を導入することで予想される効果と考慮すべき課題について解説する。

講演 2

「SAF 利用に関する現状と今後について（仮）」

喜多 敦 氏（日本航空株式会社 調達本部長付 AFS 推進担当部長）

2050 年 ネットゼロ(NZE)に向けた全世界的な取り組みにおいて、航空セクターにとっては「SAF」の活用が最大の課題である。航空インフラを維持するためには、この SAF を利用できる環境を構築しなければならず、そのために航空会社だけではなく国あるいは経済・産業界といった枠を超えた連携が不可欠となっている。SAF の現状と今後の見通しについて、社会的・経済的観点を含め航空会社の視点から解説する。

会場地図

